

各位

会社名 株式会社フェニックスバイオ
 代表者名 代表取締役 島田 卓
 (コード番号: 6190 東証グロース)
 問合せ先 専務取締役管理部長 田村 康弘
 (TEL 082-431-0016)

営業外収益（為替差益）の計上及び

2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第2四半期連結累計期間において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

2023年3月期第1四半期連結累計期間において、為替差益25,261千円を計上していましたが、外国為替相場の変動に伴い、2023年3月期第2四半期連結会計期間において、為替差益11,421千円を計上いたしました。

この結果、2023年3月期第2四半期連結累計期間において為替差益36,683千円を計上いたしました。これは主として、当社保有の外貨建債権を2022年9月末時点の為替レートで評価替えを行ったことにより発生した評価益であり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 2023年3月期 第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|-------|-------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 786 | 41 | 40 | 39 | 11.97 |
| 今回実績(B) | 1,135 | 367 | 403 | 356 | 107.65 |
| 増減額(B-A) | 349 | 325 | 362 | 317 | — |
| 増減率(%) | 44.4 | 790.9 | 890.0 | 801.6 | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期) | 637 | △133 | △128 | △130 | △39.59 |

3. 差異の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、PXBマウスの需要が薬効薬理分野、安全性等分野ともに増加しており、前期から繰り越された受注残高も豊富であったことから、売上高は順調に推移いたしました。特に海外市場の抗B型肝炎薬試験（薬効薬理分野）において大型案件が前倒して売上計上できたことや円安の押し上げ効果により計画値を大きく上回りました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても売上高の増加に伴い、計画値を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、前述のとおり第2四半期連結会計期間において一部の大型案件が当初見込みより早期に売上計上となりましたが、概ね計画通りとなっております。

す。海外市場の売上高は円安進行によりプラス要因となりますが、受託試験サービスは業務提携先のCRO（受託試験実施機関）を含めて高稼働率の状況にあり、今後計画している受託試験案件に変更があった場合の受け入れに限りがあること、国内市場の薬効薬理分野においては開発中止や延期が発生していること、PXBマウスの生産に必要なドナー肝細胞の切替えが下期に予定されており歩留率等に不確定要素があることなどを踏まえて、慎重に通期見通しを評価した結果、5月13日の決算短信で公表しました業績予想値は据え置きといたします。今後、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上